

第3学年小論文講演会 その2

平成23年8月24日

8月24日(水) 第一学習社の森岡厚子先生を講師に迎え、小論文講演会を開催しました。6月下旬に実施した小論文模試を振り返りながら、具体的な小論文の書き方や今後の勉強方法について講演をしていただきました。

【講義内容】

小論文とはどのような文章か。

- ・課題で問われている事柄についての自分の意見(=主張)を、客観的に論理的に述べる文章。

小論文の段落構成

- ・主題提示型で書く場合

(序論)主題 (本論)理由説明 (結論)主題の最提示

- ・問題提示・解決型で書く場合

(序論)問題点 (本論)考察(問題点の原因・背景) (結論)解決策

小論文の評価の方法

- ・ポイントは、問われていることについて、自分の意見を、誰にでも納得いくように、筋道を立てて述べているかどうか。
- ・主題の明確さ(自分の意見がはっきりと述べられていること)、具体性・説得力、構成力・思考力、文章表現力・表記力が評価される。

実際の答案例を見て、ポイントを探る。

- ・しっかりと主張されているか、一貫性があるか、論理的に述べられているか。
- ・グラフ資料読み取り問題では、グラフの値の大きいところ、小さいところ、変化の激しいところに注目する。
- ・資料が複数与えられている場合には、複数の資料から共通の問題点を見つける。

これからすべきこと

- ・「教えてもらう人」から「調べる人」になろう。
自分で調べる 自分で考える 第3者に見てもらう。
- ・普段からニュースに敏感になって、自分の志望分野との関連を考える。

文章表現することは大学でも社会でも必要なので、小論文入試も受ける人はもちろん、そうでない人もたいへん熱心に講演を聴き、有意義な時間を過ごしました。森岡先生、ありがとうございました。

